

燕・弥彦総合事務組合職員が新型コロナウイルス  
感染症に感染した事案の発生について（報告）

本組合職員が、新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明しましたので、お知らせいたします。該当職員は、令和2年12月31日に県内545例目（10代、男性、学生）の濃厚接触者であると確認され、PCR検査の結果、陽性であることが判明しました。当組合職員で1例目の感染者となります。なお、該当職員は、無症状ではありますが、基礎疾患により医療機関に入院しております。濃厚接触者等の詳細については調査中です。

1 該当職員の概要

50代男性 燕市在住 海外渡航歴なし

2 該当職員の勤務概要

勤務先：燕・弥彦総合事務組合燕消防署（三王淵出張所勤務）

3 現在の職場の状況

勤務場所の事務室等は、随時、定期的に消毒や換気を実施し、1月4日まで三王淵出張所を閉鎖しております。

当組合消防職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。現在、該当職員と接触のあった職員については、在宅勤務措置を講じるとともに、所属の全職員に対しPCR検査を実施し、1月4日に検査結果が判明する予定です。また、消防車、救急車及び該当施設についても消毒を実施するなど感染拡大の防止に全力で取り組んでおります。なお、該当職員は12月28日に救急活動に従事しましたが、現在のコロナ禍において救急活動に従事する際は、必ず感染防止措置を行っているため、救急患者等への感染リスクはないものと保健所からの判断を得られています。このような状況下においても皆様の安全・安心を守るため、消防・救急活動に支障が生じないように万全の態勢を取ってまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

燕・弥彦総合事務組合

管理者 燕市長 鈴木 力